

本日は、ボリスポリ国際空港ターミナルD竣工2周年記念式典にご招待頂いてありがとうございます。また、お忙しい中、ブルバーク・インフラ大臣、シャンドラ・キエフ州行政府長官、ゴンボレフスキー・空港総裁をはじめ、多くのご来賓の参加があり、大変光栄に思います。

最初に、日本政府として、25日の大統領選挙が一部の地域を除き自由、公正かつ平穏に行われ、ポロシェンコ候補が当選を確実なものとしたことに祝意を表します。また、新政権の下で、ウクライナの平和と安定の実現が促進され、国内対話や統合などのための諸改革が進むことを期待しています。我が国としてもこうした改革の促進において、引き続き、新政権を支援していく所存です。

ターミナルDの建設計画は、ウクライナに対する初の円借款プロジェクトであり、丁度2年前の昨日に竣工式を行いました。いわばウクライナの「空の玄関口」ともいえるボリスポリ国際空港の拡張プロジェクトを、日本政府として支援できたことを、誇りに思います。同時に、ターミナルDがウクライナの旅客需要・貨物需要の増大に応え、ウクライナの国際ビジネスの一層の発展をもたらすことを強く期待しています。

この度、竣工2周年を記念して、空港側より、日本国政府および日本国民に対する感謝の意を示すため、「日・ウクライナ協力記念プレート」の発表および「桜の植樹」を行うご提案を頂きました。このようなウクライナ側による温かいご配慮に、大変感謝致します。

日本国は、戦後70年に渡って平和国家としての道を歩み、政府開発援助（ODA）を通じて総額4200億ドルに及ぶ対外財政支援を実施し、国際社会の平和と繁栄の構築に貢献してきました。今年はこの援助を開始して60年の節目を迎えます。このような日本の国家としての歩みは、世界中から高く評価され、大きな信頼を得てきました。

ここウクライナにおいても、我が国は、独立以降20年以上に渡って、ウクライナとよい協力をしてきました。教育、医療、環境、文化といった分野を中心に、草の根プログラムと呼ばれる人々の生活に直結する小規模支援から、円借款のような大規模案件に至るまで、両国政府間協力は6億ドルに達します。

これに加えて、現下のウクライナ情勢を踏まえ、本年3月、新たに15億ドルの財政支援を行うことを決定致しました。この支援には、この空港事業に続くウクライナで2番目となる円借款プロジェクト、総額11億ドルの「ポルトニッチ下水処理場改修事業」が含まれます。

「まさかの友は真の友」という諺があります。日本とウクライナは地理的には8000kmの距離がありますが、日本国民は、常に、平和と自由を愛するウクライナ国民と共にあります。私は、在ウクライナ日本国大使として、日本外交の基本理念を堅持し、ウクライナ新政権と協力してウクライナの平和と安定に寄与し、以って、日・ウクライナ友好協力関係の更なる発展のために働く所存です。ご静聴ありがとうございました。